

地球の音を聴く

小松玲子 サヌカイトコンサート

SANUKITE
Komatsu Reiko



琮-SOU-



HULA
Wakebe Noriko

音は、祈りになる
Sanukite×Hula

2026年 6月 27日 (土)

高松市美術館 エントランスホール

開 場 | 午後6:00

開 演 | 午後6:30 (公演時間 約1時間)

入場料 | 1,500円 (自由席) *0歳から入場OK

*小学生以下のお子様は無料 (座席に座る場合は無料チケットが必要)

チケットのご予約

QRコードを読み取り、
必要事項をご入力ください。
コンサート当日、現金での
お支払いとなります。

*高松市美術館では、チケットの販売はございませんので、
予約フォームをご利用いただくか、下記へご連絡ください。



お問合せ | sanukite.kagawa@gmail.com

主催 | 小松玲子・サヌカイト後援会高松支部

サヌカイト SANUKITE

サヌカイトは、約 1350 万年前の瀬戸内火山活動によって形成されたマグマが地表で急速に冷えて固まったガラス質の溶岩。まさにガラスのように緻密で硬い安山岩で、世界的に珍しく、瀬戸内周辺地域に分布する。讃岐（香川県）が主な産地であるため、ドイツ人科学者により「サヌカイト」と名付けられた。

叩くと金属のような音が鳴るので、香川県内では「カンカン石」と呼ばれて親しまれている。

しかし、このサヌカイトから、正確な音階を持つ楽器『琮-SOU-（そう）』が作られていることはあまり知られていない。世界でも唯一無二の石の楽器として注目されている「サヌカイト」の音色は、地球が現代の私たちに届けてくれる悠久の音である。

夏の夕暮れに響く涼やかなサヌカイトの音色。

深く豊かな地球の音に包まれるひとときをぜひ一緒に。



サヌカイトの原石
(香川県坂出市金山)



サヌカイトを円柱形に成形し、
中を二重にくり抜いて作られる
「琮-SOU-」は長い余韻を持つ

サヌカイト楽器「SOU」の
真ん中の【ド】
ほぼ実物大です
長さ 29センチ
直径 6.7センチ

出演



小松 玲子 サヌカイト奏者・パーカッショニスト

香川県高松市出身

高松第一高等学校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部打楽器科卒業

平成 28 年度よんでん芸術文化奨励賞、東久邇之宮文化褒賞受賞

高松市観光大使

海外公演、国内公演多数



分部 典子 わけべのりこフラススタジオ 主宰

香川県宇多津町出身

1998 年 Hula を始め、2004 年わけべのりこフラススタジオ設立

2014 年福島俊治氏「阿波ぞめき渦の會」と共に「阿波フラ会」発足

2018 年茅ヶ崎マカナフラコンペティション・Kupuna グループ部門 1 位

スタジオ主催の発表会を、毎年、徳島・香川の両県で開催

プログラム *変更になる場合もありますのでご了承ください

「Ku-Kai」 VR 映像作品「高野山 壇上伽藍—地上の曼荼羅—」より

「Mandala」 VR 映像作品「高野山 壇上伽藍—地上の曼荼羅—」より

「屋島～Yashima～ 2022」 四国村ミウゼアムリニューアルオープン記念作品

「He Wehi Aloha」(feat. Nani Lim Yap) / Kalani Pe'a

「Nani Pi'iholo」 / Kahalawai

ほか

YouTube



朝日新聞デジタル

「サヌカイトで作られた楽器」

(坂出市金山での楽器制作の様子)



小松玲子

「LOVE LETTER」 PV